



# 集団就職列車内での決意が人生の原点

私は、御明神中学校を2クラス63名で昭和35年度に卒業しました。その頃の御明神の農業は馬から耕運機に代わる頃で鉄道も田沢湖線は橋場線と言って、雫石駅が終点で蒸気機関車が走っていました。小学生の頃、耳の治療に雫石駅まで歩いて行き盛岡まで通院したことがありますが、駅までとても遠かった事を記憶しています。

私たちの頃は高校に進学する者は数名で、多くは地元に残らず東京や関東方面に就職するのが普通で、私も親から地元の高校に進学しても良いと言われましたが、受かる自信がなく悩んでいました。そんなとき、先生から千葉県鴨川にある病院で1年間働いたら高校の学費も全額出してくれるし、既に何人か同じ中学校の先輩がいるから安心して働けると勧められ就職することにしました。3月の終わりに同級生と一緒に夜行の集団就職列車で雪の降る盛岡駅を母や姉に見送られて出発しました。その時の悲しみと感謝と決意の心は今でも鮮明に脳裏に刻まれており、その後の人生で壁に当たったり悩んだりしたときに、勇気を奮い立たせてくれました。

上野駅で都内の就職組と別れ、さらに電車に乗り、着いたのは夕方、周りは雫石と変らぬ景色でした。病院での仕事は患者さんの食事作りで、朝が早く馴れるのが大変で何度辞めて帰ろうと思った事か。それでも上京時の決意で踏ん張り、5年間高校を卒業するまでお世話になりました。その間帰省での思い

出は、夏に1万円の中古オートバイで舗装されていない国道6号を、仙台・盛岡経由で2日かかりで帰った時に家に着くなり母親に怒られました。その時のヘルメットを今も捨てずに持っています。卒業後一緒に行った同級生と鴨川を離れ、東京に出て、自分は専門学校に同級生は料理の道へと進んだが、若くして東京で亡くなり残念な思いをしました。

その後、私は縁あって大学病院の調理室にお世話になり、40年近く勤務し定年を迎えました。定年後は雫石で生活しようと思いましたが、千葉の魅力も捨てがたく、今は近所に中学の恩師や先輩の居るいすみ市で田んぼに囲まれて、趣味や車での旅行を楽しみながら生活しています。また、町友会には同級生の中島幸男君の誘いもあり、ふるさとの仲間と会えるのを楽しみに参加しています。雫石の四季の美しさは故郷を離れてから強く感じています。特に春の小岩井農場、秋の滝ノ上溪谷、帰省すると必ず行く国見温泉、道の駅等。去年は地元の友人達を連れて、雫石を紹介しに帰省旅行をしました。

帰省するたびに同級生を集めてくれる人、集まってくれる人、親代わりの姉夫婦、実家を守っている人たちがおりとても感謝しております。元気な間は出来る限り帰省したいと思っており、今年もお盆に帰省してきました。写真は趣味のカービングで作った木彫りの行燈と野鳥です。



## 小坂忠彦さんプロフィール

昭和20年生まれ。御明神天瀬行政区出身。趣味：カービング（彫刻）、旅行（車）。御明神中学校一亀田総合病院・千葉県立長狭高校一東邦大学医療センター大森病院（千葉県いすみ市在住）